

施策番号	25
------	----

## 施策評価シート（評価対象年度：令和2年度）

基本政策	5	自治・協働
施策名	25	広報・広聴
10年後のまちの姿	○日常的に市民の間で様々なまちの情報が共有され、相互の情報交流が行われています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、市民が行政を身近に感じられるよう、市政情報を分かりやすく伝えるとともに、市民が市政情報を入手しやすく、市政に対して意見や要望を伝えやすい環境を整備します。 市民等は、市政に対して関心を持ち、積極的に市政情報を入手し、自らの声を行政に伝えるよう努めます。	
実現に向けた取組	①接点の拡大と分かりやすい情報の提供 ②コミュニケーション型（対話型）行政の推進 ③市外に向けた市勢情報の発信	
施策担当課・係	総合政策課 広報情報推進係	
施策関係課・係	総合政策課 行革協働係、商工観光課 商工振興係、議会事務局 議会係	

### I 施策の実施状況

#### 1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	15,719	12,584	12,874	11,399	
事務事業数	3	3	3	3	
うち、事務事業評価対象	2	2	2	2	

#### 2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
胎内市公式ウェブサイトのアクセス数〔年間〕	千セッション	365	420	488	479	607		444	494
市政に対する意見・要望（市長への手紙、市報アンケート、ホームページの各課問い合わせ）の受付数	件	411	433	460	454	548		480	560
主要な計画の策定や見直しに当たりパブリックコメントを実施した割合	%	37.5	87.5	100.0	100.0	100.0		100	100
成果指標による現状分析	<p>○ウェブサイトのアクセスについては、目標値を上回っており、アクセス数は伸び悩んでいたが、新型コロナウイルス関係の情報提供によるアクセス数の大幅な向上が見られたものの、一時的なものとする。また、ホームページのデザインが古く魅力的なものになっていないため、デザインをリニューアルする。</p> <p>○意見・要望については、市政に対して満足度が高いのか、関心がないのか判断ができない。また、件数が多いからと言って成果が出ている訳ではないと考えられ、目標値はあるが、意見や要望を随時受け付けしていることを周知することで良いと考える。増加の原因は、新型コロナウイルス関係のものが多くを占めた。</p> <p>○パブリックコメントについては行うべきものは行っており、今後も継続する。</p>								

#### 3 施策の進捗状況

達成度	◎ 順調
評価の理由	数値は中間目標を一時的ではあるがすべて上回っており、施策の進捗状況は概ね順調である。

#### 4 取組の状況と今後の方向性

##### ① 接点の拡大と分かりやすい情報の提供

施策の内容
①市政情報の提供媒体として活用が求められている市報たいないの更なる充実を図ります。 ②情報を必要とする人が、欲しいときに必要な情報を得られるよう、ホームページの更なる充実等を図ります。 ③市政を身近に感じるための方策の1つとして、市議会のインターネット中継等を実施します。
これまでの主な取組と実績
①高齢者でも読みやすくなるよう紙面の文字を拡大した。(全ページの約半数)。ユニバーサルデザインフォントの使用(R1)。お知らせアイコンを使用し内容を分かりやすく伝えるようにした(R1)。市報モニター(市民公募)を増やした。(6人→H29-10人→H30-12人) 閲覧用市報の設置施設を増やした。(2施設→12施設) 各課の課題・目標を特集記事(4ページ)として掲載した。(R1-8課)(R2-7課) 市報及び議会だよりを「マチイロ」アプリでR1年11月15日号から配信開始。一般市民からの写真の投稿の募集開始(R2.8から)。(R2年度 8件) ②ホームページの巡回確認を行い掲載コンテンツの見直しを実施した。(見直しの実施H29→28件・対応24件。H30→77件・対応55件。R1→79件・対応57件。R2→302件・対応296件) ③市議会のインターネット中継の開始(R2.9月から)。
主な課題と今後の対応
①特集記事の掲載の継続。見やすさの向上のためデザインの見直しをする。市民の声も積極的に掲載する。市報の発行回数等の検討。各世代で考え方が違い高齢者は今までどおり、若い世代は減らした方が良いとの回答が多く、デジタル化が進み受け入れられるようになった際に再考する。継続した課題とする。 ②ホームページ掲載コンテンツの見直し・見やすさの向上のため引き続き巡回確認を実施する。デザインが古く魅力的なホームページとなっていないため、リニューアルをする。

##### ② コミュニケーション型(対話型)行政の推進

施策の内容
①地域の課題解決に向けて、市民の多様な意見を施策の検討や改善に反映するため、パブリックコメントの実施、公募委員の参画やワークショップの開催等を更に進めるとともに、座談会や要望相談等行政に建設的な意見や要望を提出する機会を増やします。 ②市民の意見や要望を適切に市政に反映するよう努めるとともに、寄せられた意見や要望の対応状況を公開する新たな仕組み等の導入を検討します。 ③市政への理解の促進と胎内市のファンの拡大を目指して、アカウントの整理や活用の拡大をはじめとするSNSの運用の改善を行い、市民と行政の情報交流を促進します。
これまでの主な取組と実績
①計画策定・見直しの際にパブリックコメント等が実施されるよう、対象となる計画の策定等スケジュールの一元化を行った。タウンミーティング(協働座談会)について、H30年度から実施している。(H30年度→16回。R1年度→5回。R2年度→0回) ②市長への手紙について、用紙・封筒の設置施設を増やした。(8施設→9施設) 市報アンケートで寄せられた意見等を職員へ周知し共有した。市報モニターから寄せられた意見等を職員へ周知し共有した。 ③市のSNSを開設している。facebook→13、インスタグラム→7、Twitter→3、YouTube→1。SNSではないがCookpad→1。市全体の情報をfacebookとTwitterで発信しており、その他事業や施設単位で情報発信を行っている。
主な課題と今後の対応
①タウンミーティングは全集落を目標に今後も継続して行うが、今後の開催については新型コロナウイルスの感染が拡大傾向のため感染状況等勘案し開催する。 ②SNSアカウントの更新頻度が少ないものは更新を促す。頻度の向上が見込めないものは整理するなど運用を改善する。

③ 市外に向けた市勢情報の発信

施策の内容	
①観光・交流、移住定住、企業誘致等の促進を図るために、胎内市の情報を積極的に発信する。	
これまでの主な取組と実績	
①市外向けに市勢要覧の冊子（印刷物）を作成し、電子データをホームページに掲載した。 ②胎内サポーターズクラブ向けにメールマガジンを発信（月1回）を始めた。（登録者数（総数）：R1→45人、R2→195人） ③郷人会開催 H29→4回 398人、H30→4回 308人、R1→3回 193人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止）、R2→0回 0人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止） ④各県人会・郷人会の会員と交流する場を設け、市外に向けた情報発信を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中断している。 ⑤市内企業見学ツアーの開催。地元企業合同説明会の開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）。	
主な課題と今後の対応	
①関係人口の創出も企図した「たいないサポーターズクラブ」の周知と市勢情報の発信を定期的の実施しサポーターの数を増やす。 ②郷人会について、従来と同じ形での開催は難しく、新型コロナウイルス感染防止をして行う形でできるよう実施方法について、各会の代表者や幹事と協議を行う。	

5 施策の今後の方針

施策方針	◎ 拡充
施策方針に関する説明	○市報について 伝えるべき情報は掲載しているが、効果的に伝わっているかどうか言えば改善の余地があると考えられる。見やすい紙面を目指し継続して見やすいレイアウトを考える。現在特集している各課の課題については、市民から「初めて知った」という声も聞こえてくることから継続して行う。 ○ホームページについて デザインが古く、欲しい情報にたどり着きにくいことからR3年度にリニューアルを行う。 ○市外への情報発信について 市外への情報発信はSNSが一番有効な手段であることからホームページとリンクして発信するようにする。また「たいないサポーターズクラブ」の会員も増えてきており、メールマガジンで市の情報を拡散してもらうようにする。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R2 事業費		R3 当初予算額		達成度	施策目標 に対する 貢献	今後の 方向性	主な事業	担当課
			うち 一般財源		うち 一般財源					
520110	広報広聴事業	9,160	7,869	14,615	13,506	○	○	②	○	総合政策課
520310	胎内郷人会事業	141	141	2,150	870	×	△	⑤		商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	520110		担当課	総合政策課	担当係	広報情報推進係	担当者	
事務事業名	広報広聴事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計	
基本政策	5	自治・協働	事業コード	大	52	広報・広聴	款	02 総務費
施策	25	広報・広聴		中	01	接点の拡大と分かりやすい情報の提供	項	01 総務管理費
				小	10	広報広聴事業	目	03 文書広報費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令				
	法令による義務付け			関連条例	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民と行政の円滑な情報交換を進めるため、市民が必要とする行政情報を市報やホームページ、SNS等を通じて幅広く提供するとともに、市民の意見を聴く機会の確保に努める。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市報発行</li> <li>市勢要覧の作成</li> <li>ホームページ維持管理</li> <li>SNSの投稿</li> <li>市長への手紙</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	10,913	8,802	8,781	9,160	14,615
国・県支出金	208	208	209	196	209
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,192	1,129	951	1,095	900
一般財源	9,513	7,465	7,621	7,869	13,506
人件費（千円）	8,951	8,822	11,243	11,270	
正(h) ※事業費	4,000	3,700	5,200	5,142	
会計年度任用(h) ※事業費	1,900	2,300	1,610	1,701	
総事業費+人件費	19,864	17,624	20,024	20,430	
財源「その他」内訳	県民だより配布委託金 196千円 広告掲載料 1,095千円				
事業費の主な支出内容	印刷製本費 4,608千円 通信運搬費 1,420千円 広報等配布業務委託料 1,191千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	①市報の年間発行回数 ②フェイスブックとツイッタの投稿回数	①市報の年間発行回数 ②フェイスブックとツイッタの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数
	目標	①24回 ②81回	①24回 ②95回	①21回 ②96回	①21回 ②97回	①21回 ②98回
	実績	①24回 ②79回	①24回 ②15回	①21回 ②88回	①21回 ②187回	
成果指標	名称	①市報モニターアンケートの年間平均評価②年間投書数③ホームページ年間閲覧数④ホームページ年間アクセス	①市報モニターアンケートの年間平均評価②年間投書数③ホームページ年間閲覧数④ホームページ年間アクセス	①市報モニターアンケートの評価②市報アンケート投書数③ホームページ閲覧数④ホームページアクセス	①市報モニターアンケートの評価②市報アンケート投書数③ホームページ閲覧数④ホームページアクセス	①市報モニターアンケートの評価②市報アンケート投書数③ホームページ閲覧数④ホームページアクセス
	目標	①3.0②271枚③1,298千ビュー④404千セッション	①3.1②272枚③1,299千ビュー④414千セッション	①3.2 ②273枚③1,300千ビュー④424千セッション	①3.3 ②274枚③1,301千ビュー④434千セッション	①3.4 ②275枚③1,302千ビュー④444千セッション
	実績	①3.9②258枚③1,385千ビュー④420千セッション	①3.9②219枚③1,433千ビュー④488千セッション	①4.0②225枚③1,393千ビュー④479千セッション	①4.0②206枚③1,864千ビュー④607千セッション	
	目標比	①130%②95%③107%④104%	①126%②81%③110%④118%	①125%②82%③107%④113%	①121%②75%③143%④140%	

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	○	
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標については昨年に比べ数値が下がっているものはあるが概ね達成している。市報については見やすさや、各課の重点課題の特集記事に取り組み評価が良い。ホームページについて、新型コロナウイルス関係の情報提供によるアクセス数の大幅な向上が見られたものの、一時的なものと考える。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> <li>市報のお知らせ以外の文字を拡大した。</li> <li>ホームページを巡回確認し、古いコンテンツ・わかりにくいページを更新した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>R1年度の市報発行回数の見直し（合併号を年3回発行）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各課の重点課題を特集記事にした。8課。残りはR2年度に実施。</li> <li>文字を障がい者でも見やすいユニバーサルデザインフォントに変更。</li> <li>街の連絡帳を無駄に長い説明をやめ、簡潔にわかりやすい文面に変更。お知らせアイコンを使用し、内容を分かりやすく伝えるようにした。</li> <li>市報及び議会だよりを「マチイロ」アプリで11月15日号から配信開始。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各課の重点課題を特集記事にした。7課。</li> <li>市民からの投稿写真を掲載。（もっと見たいない）</li> </ul>

6 事業の課題

○市報・・・記事のマナー化、記事の見せ方。発行回数については若い世代に発行回数を減らした方が良いという声が多くあるものの、高齢者については現状のままが良いという声が多く、継続して考えていく必要がある。
○ホームページ・・・デザインが古く魅力的なホームとなっていない。情報の陳腐化・表現の不統一さがある。令和3年度にリニューアルする予定である。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	①	②	
<ul style="list-style-type: none"> <li>特集記事を2カ月に1回程度の割合で掲載し、記事のマナー化を防ぐ。</li> <li>市報の発行回数について、令和2年度に市民の皆さんにアンケートを取った結果、全体で半数が月2回の現状を支持している。月1回という声が若い世代に多いが、情報弱者の高齢者の6割程度は現状維持を望んでおり、デジタル化が進み受け入れられるようになるまで現状を維持する。5～10年後を目途に再度検討する。</li> <li>ホームページについては、R3年度にリニューアルし新たなホームページとなる。情報の陳腐化を防ぐため、巡回チェックを継続する。表現の不統一はリニューアルを機に統一化を図る。</li> </ul>					

8 二次評価委員会所見

マンネリ化した記事やニーズに合わないような記事等の見直しを図る。
----------------------------------

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	520310		担当課	商工観光課		担当係	商工振興係		担当者		
事務事業名	胎内郷人会事業		事業年度	令和2年度			会計区分	一般会計			
基本政策	5	自治・協働	事業コード	大	52	広報・広聴		予算科目	款	07	商工費
施策	25	広報・広聴		中	03	市外に向けた市勢情報の発信			項	01	商工費
				小	10	胎内郷人会事業			目	01	商工総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意			関連条例	関連計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市を故郷とする各県人会と交流を深め、胎内市の発展を考える場を設ける。
主な実施内容	各県人会・郷人会の会員と交流する場を設ける。 ・東京胎内郷会（4月） ・関西胎内郷人会（5月） ・オール胎内郷人会（10月） ・中条郷会（3月）
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	△	×	
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 年度内に4回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、いずれも中止となったため。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

・各会において参加者の高齢化が進み参加人数も減少しており、存続のためには事務局と連携した取り組みを進める必要があるが、コロナ禍の影響により具体的な対策の検討が進まない状況にある。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	2,889	2,398	2,168	141	2,150
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	198	266	273	0	1,280
一般財源	2,691	2,132	1,895	141	870
人件費（千円）	442	445	399	19	
正(h) ※事業費	240	240	210	10	
会計年度 ※事業費	0	0	0	0	
任用(h) ※事業費					
総事業費+人件費	3,331	2,843	2,567	160	
財源「その他」内訳	参加者負担金：273千円				
事業費の主な支出内容	消耗品費：119千円 通信運搬費：22千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

6 事業の課題

今後の事業実施にあたり、従来と全く同じ形での開催は難しいと考えられるため、事業の目的を達成したうえで、感染防止を行える形を模索していく必要がある。

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開催数	開催数	開催数	開催数	開催数
	目標	4回	4回	4回	4回	4回
	実績	4回	4回	3回	0回	
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数
	目標	500人	500人	300人	300人	300人
	実績	398人	308人	193人	0人	
	目標比	79.6%	61.6%	64.3%	0.0%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑥	⑥	⑤	⑤	
感染症対策をしたうえでの実施方法について、各会の代表者や幹事と協議を行う。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					